

# 一関市の学力学習状況の現状

(平成30年度数研式標準学力検査CRTの結果より)

## 調査結果の概要

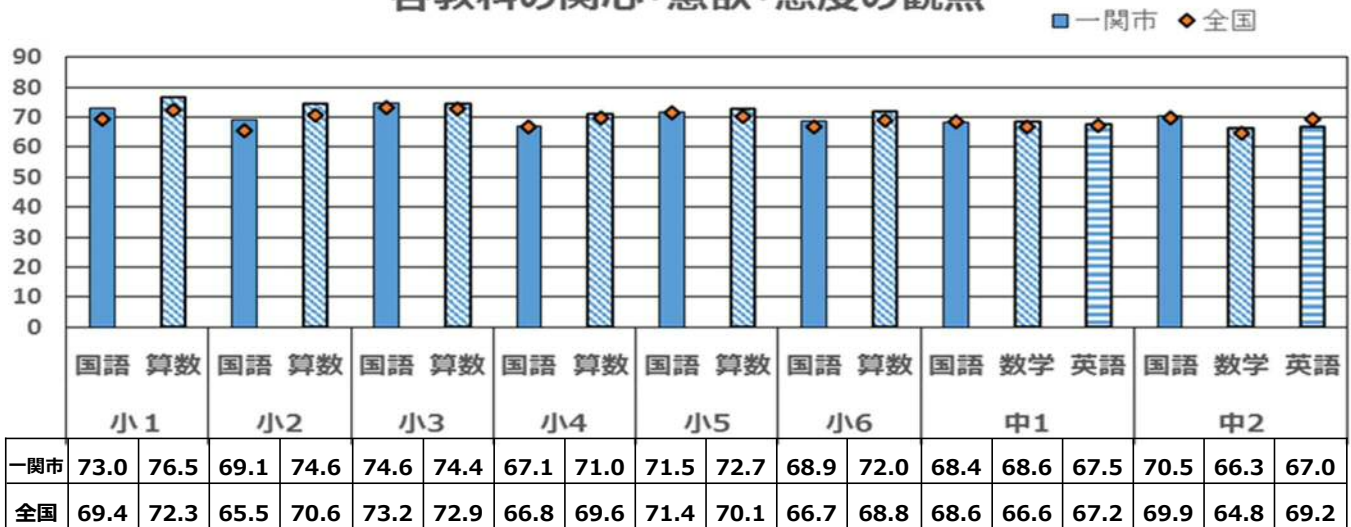
一関市教育委員会

調査実施日・調査対象 平成30年12月3日(月)～14日(金) 小学校第1学年～第6学年、中学校第1学年・第2学年

正答率 (%)	小学校												中学校						
	国1	算1	国2	算2	国3	算3	国4	算4	国5	算5	国6	算6	国1	数1	英1	国2	数2	英2	
一関市	79.6	81.2	82.3	79.1	70.1	80.1	73.7	71.3	69.0	69.9	75.0	71.8	64.0	54.3	61.9	65.3	60.3	56.9	
全国	73.7	74.3	76.9	75.2	64.2	73.5	68.9	66.1	65.6	65.1	71.2	68.2	63.8	57.1	66.8	65.6	61.9	60.6	
H30 全国比較	5.9	6.9	5.4	3.9	5.9	6.6	4.8	5.2	3.4	4.8	3.8	3.6	-0.2	-2.8	-4.9	-0.3	-1.6	-3.7	
H29同 一児童・ 生徒での			国1	算1	国2	算2	国3	算3	国4	算4	国5	算5	国6	算6			国1	数1	英1
			4.3	7.0	3.8	4.1	5.0	4.6	5.4	7.2	4.5	6.4	4.2	4.3			0.3	-0.7	-5.5
H28同 一児童・ 生徒での					国1	算1	国2	算2	国3	算3	国4	算4	国5	算5			国6	算6	
					3.3	5.9	4.6	4.9	6.2	6.3	4.9	5.9	5.9	8.0			3.1	4.8	

- ・小学校は全教科で全国を上回りました。中学校は全教科では全国を下回る状況が見られました。
- ・過去2年間の平均正答率から、同一の児童・生徒がどのような変容をしているか分析すると、特に今年小学校3年生は国語・算数ともに、伸びが見られました。
- ・小学校高学年から中学校への学びがうまくつながるよう、さらに小中連携を進めることが大切です。
- ・全国との得点率の差が前年度(平成29年度)よりもマイナス幅が小さくなったり、プラスに転じたり、プラス幅が大きくなったりと、昨年度に引き続き学力の向上がみられます。

## 各教科の関心・意欲・態度の観点

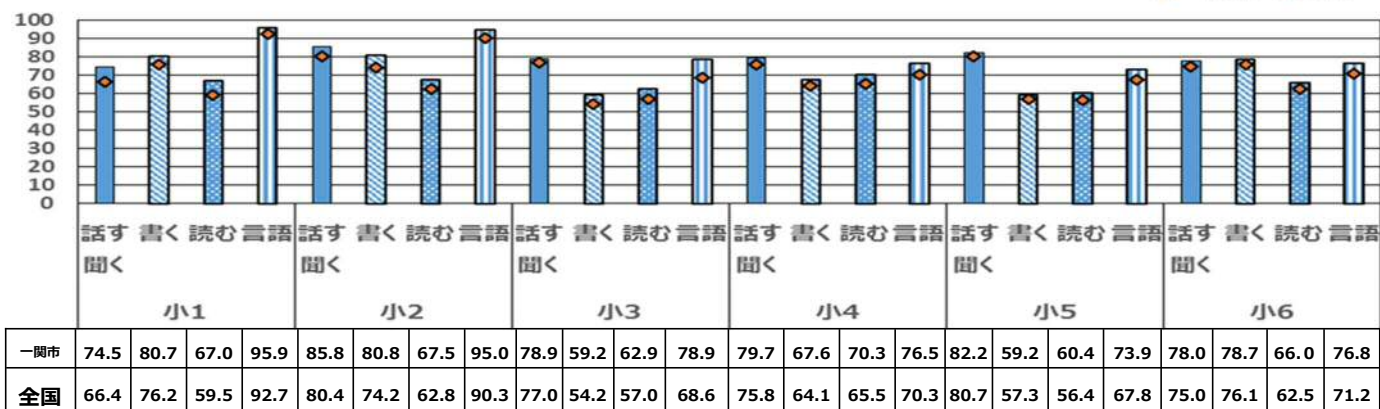


- ・関心・意欲・態度の観点の得点率は、小学校では全教科において全国より高く、中学校では数学のみが全国より高い結果でした。
- ・英語は、最終ゴールの課題を提示し、普段から「できること」の積み重ねを大切にすることで、最後にはできるようなる経験を積ませていくことが必要と思われます。

# 小学校観点別

## 小学校・国語

小学校国語・観点別得点率



得点率全体を見ると、2年生と5年生の「話す・聞く能力」が高い傾向が見られます。3年生と5年生の「書く能力」が低い傾向がみられます。またどの学年も「読む能力」は全国より高い結果ですが、他の領域と比べると低く、改善が必須となります。

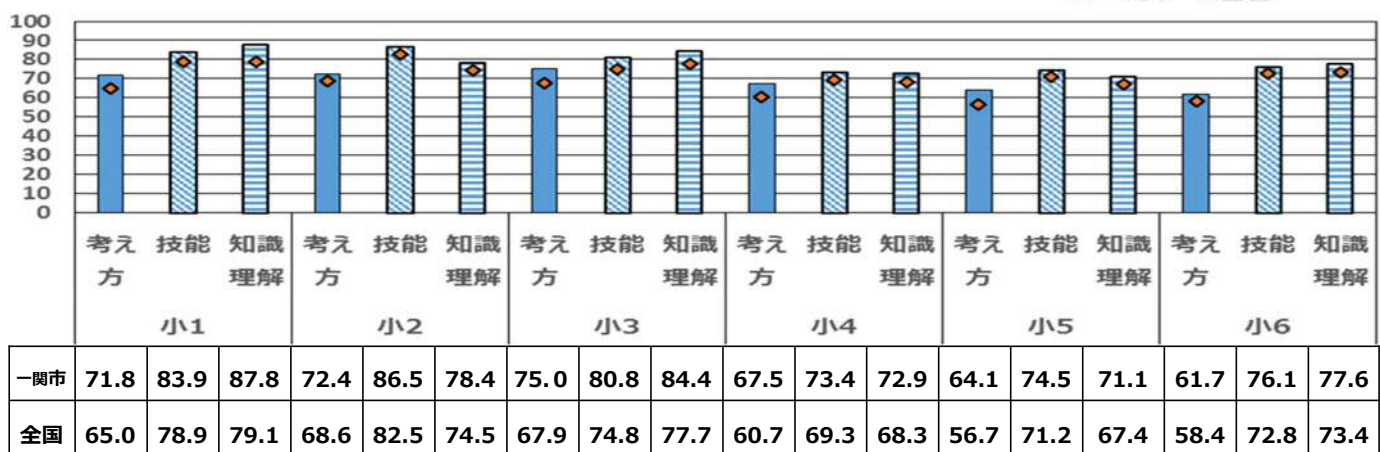
### Point!

○話の中心・大事なことを聞き取る場面を、授業の中で、または朝の会、帰りの会等の中で設ける。



## 小学校・算数

小学校算数・観点別得点率



全学年、全観点において全国よりも高い結果となっています。

しかし、「数学的な考え方」は全学年とも他観点より低い傾向にあります。

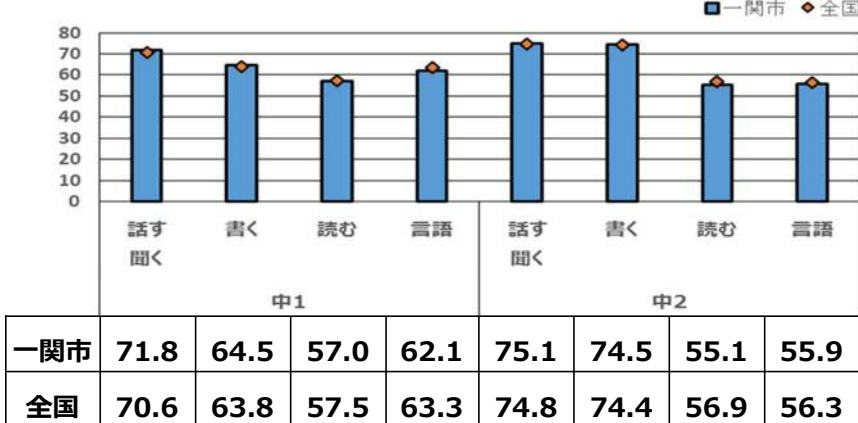
### Point!

○計算の意味指導では、図や式、数直線等を利用して関連付けし、その意味を言葉で説明する場を設ける。

## 中学校観点別

### 中学校・国語

中学校国語・観点別得点率



1・2年生とも「読むこと」「言語能力」が低くなっています。

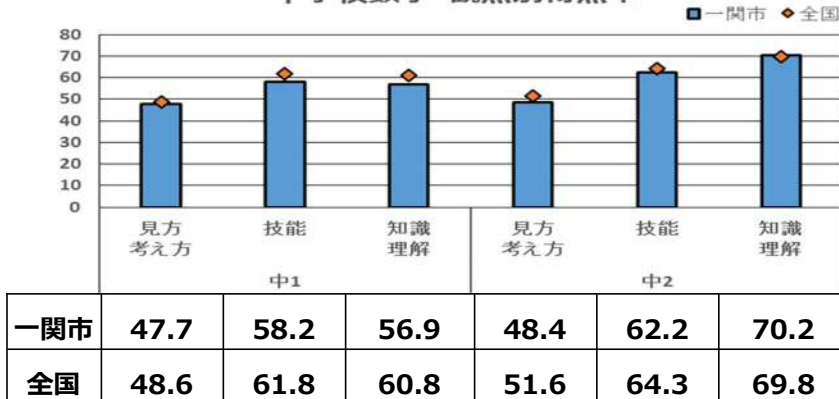
1・2年生ともに「話す・聞く能力」「書く能力」は全国並み、またはそれ以上という結果です。

○目的や必要に応じて、文章の内容を要約する学習活動を位置付けること

○内容や表現を相互に関連付けて読むこと

### 中学校・数学

中学校数学・観点別得点率



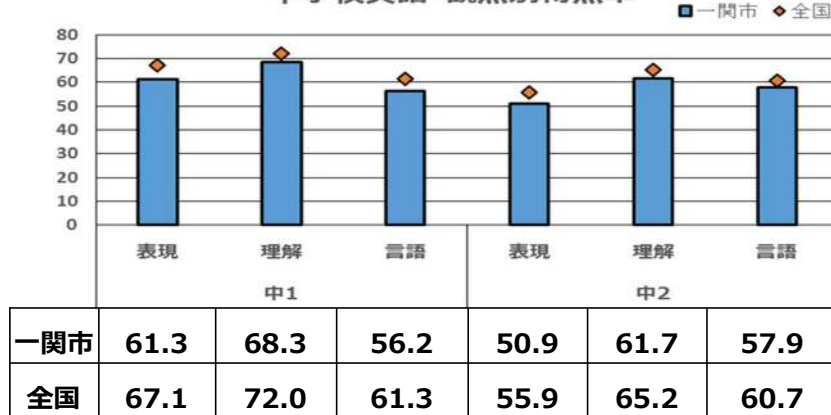
中学校2年生の「知識理解」が全国と比べ高い結果となりました。

「数学的な考え方」や「技能」においては全国より低い傾向にあります。

○既習事項を活用して解決する場面を位置付けること ○具体物の操作など視覚的に理解を支援すること

### 中学校・英語

中学校英語・観点別得点率



全ての領域において全国より低いという結果になりました。

特に1・2年生とも「表現能力」が低い傾向にあります。

○自分の体験や考え、思いなどを、基礎的な英語で発信する学習を位置づけること

○書く時間を設定し、正確さまで求める機会を設けること